



伊那弥生ヶ丘高校同窓会報

平成 28 年 8 月 1 日発行

第 7 号



ご挨拶

同窓会長 久保田 裕子

同窓会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、小坂前会長のあとをひきつぎまして新会長になりました久保田でございます。微力ではございますが、常任理事、理事、会員の皆様と力を合わせ、同窓会をさらに盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

同窓会は平成 23 年の学校創立百周年の記念事業のあと、新たに会費制を導入し、それに伴う会則や組織の見直しなどに取り組んでまいりました。皆様方の温かいご理解とご協力をいただきましてその歩みが確かなものとなってまいりました。心より御礼申し上げます。

今年度はホームページのリニューアルなどで同窓会や母校の情報をより早くお届けできるようにして、さらなる会員相互の親睦、資質の向上をはかり、母校の発展に寄与できますよう努めてまいりたいと思っております。

今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



退任挨拶

前同窓会長 小坂 博子

母校の校庭の木々も緑の濃さを増し、木漏れ日が夏を揚げ、生命あふるる季節となりました。会員の皆様には、各地域でご活躍のことと推察いたします。

私、平成 24 年度より 2 期 4 年間、会長職を務めさせていただき、先日の総会にて後任の新会長様、新役員の方々にバトンをお渡しすることができました。役員の皆様や学校の先生方、また PTA の皆様のご協力をお願いいたしましたこと、心よりお礼申し上げます。

母校弥生ヶ丘高校も開校以来百年余の歳月を経て、女



「弥生ヶ丘」の地名

学校長 矢澤 要輔

「弥生」は「いやおいの転」で、①草や木がいよいよ生い茂るさま。②陰暦三月の異称、と辞書では説明されています。この地を弥生ヶ丘と命名したのは当時伊那高等女学校教諭であられた高津才次郎先生です。校舎のあった一帯は、桜が見事に咲きほこっている、いっそ弥生ヶ丘と命名しようと呼びかけたことが交友会誌『友垣』に掲載されています。

また高津先生作詞の「同窓会歌」三番に歌われている「弥生ヶ丘に生い立ちし春の若草秋の花…」以来親しまれて来た「弥生ヶ丘」の名が衆議の一致するところとなり、昭和 24 年、新制高校発足の新校名となったことが『六十の歩み』に書かれています。けっして、校庭から弥生式土器が発掘されたことに由来している訳ではありません。

この高津先生は、伊那高女在籍中に俳人井上井月の俳句を上伊那一円から集められたことでも有名です。校長室には、その井月の句「のもぼりたつ 家から続く 緑かな」を色紙に揮毫して戴き飾っています。この句は本校創立百周年記念式典にあたり、時の窪田善雄校長が、校舎に寄り添うようにのぼり立つ銀杏の緑に、百年に亘る歴史の象徴として、本校が益々栄えることを願うと記載されています。

私も本校のさらなる弥栄（いやさか）を祈る思いです。尚この銀杏並木は、第三代校長八木貞助先生が東京帝大の門の所の並木にならない、校内の計画的な植樹によると書かれています。

子高から共学校となり、時の経過と共に卒業生の男性会員も増加し、同窓会員の構成も大きく変化し、果たす役割も大きく変化を求められています。そんな中 4 年間会長を務めさせていただき、皆様のご尽力により少しずつ改革ができたものと思っております。

今後新役員様のもと、弥生ヶ丘高校同窓会と母校の隆盛を祈念するとともに、会員の皆様のご健勝をお祈りし、退任のご挨拶とさせていただきます。

今年度当番生より



◇同窓生として

丸山 紀子 (高校 27 回)

本年度の同窓会総会の当番学年として、懇親会の準備をさせていただきました。27・37 回生、縁あり集まった私たちは、同窓生の皆さんに楽しいひとときを過ごしてもらおうと思い、何回か会を重ねるうちに打ちとけ合い、楽しく取り組んでまいりました。各クラスの役員の方々はそれぞれの役割を意欲的にやってくれました。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

懇親会には多くのご来賓の皆様、演奏会で心に響く歌声と素晴らしい演奏をしてくださった長尾様、奥村様にも華を添えていただき、嬉しく思いました。

受付のところに飾った《お花》と、テーブルの《くじゃく鳩》の折り紙は、27 回生のハーレー静代さんから贈られたものです。テーブルが華やかになり素敵でしたね。皆さんに大変喜んで持ち帰ってもらいました。静代さん、ありがとうございました。

同窓生の皆さんは懐かしい先生にお会いし、学生時代を思い出し、おおいに語り合えましたか？同窓生の絆をより一層深めて、在校生がよりよい高校生活を送れるように、これからも応援してまいりたいと思います。



恩師の方々もかけつけてくれました



当番役員の方々の活躍で素晴らしい懇親会になりました



アトラクションの一つ 和楽器オーケストラ

◇共鳴しあう素晴らしさ 原 文子 (高校 37 回)

今年度同窓会当番学年として、企画運営に関わらせていただきました。

演奏会では 44 回生の長尾譲さんに素晴らしい歌声を披露していただきました。同窓生が世界で学び活躍されていることは、他の同窓生や在校生にとっても励みになります。

また、各クラブの演奏も迫力がありました。私は、在学当時器楽クラブに所属しておりましたが、小規模で教室の片隅で練習をしておりました。ギター担当でしたが、曲によってはセロやコントラバスを

弾いていました。いまや部員も 100 人規模になり全国大会に連続出場しております。ますますのご活躍を期待しています。

懇親会では、お琴やフラダンスの披露、フルート二重奏、弦楽四重奏があり、共鳴しあう素晴らしさをあらためて感じました。

今回の実行委員も、各係ごとに得意分野の力を発揮しながら本番にむけて気持ちを一つにできた気がします。

今後とも同窓会の皆様協力し合って、母校の発展に寄与できますよう祈っております。

平成 29 年度総会のお知らせ

◆ 期 日 平成 29 年 5 月 27 日 (土)

◆ 会 場 伊那市生涯学習センター「いなっせ」

◆ 当番学年 高校 28、38 回生

5 階 会議室・6 階ホール

弥生展 (美術展) のお知らせ

◆ 期 日 平成 29 年 5 月 22 日 (月) ~ 28 日 (日)

◆ 会 場 伊那市生涯学習センター「いなっせ」 2 階 展示ホール



◆平成27年度伊那弥生ヶ丘高校同窓会 事業報告◆

■ 事業

事業名	内 容
会報の発行	◇H27.7.10発行、会員・学校職員・在校生へ配布
会則の改正	◇現行の会則について、組織の役割を明確化し、機能させるため会則を改正した(総会にて承認)
会費制の充実	◇会費制の定着に向けて、終身会費制を導入した
支部活動支援	◇会費を集金した支部について、その額の20%を還元し、組織の充実等の資金として活用できるよう支援を行なった
母校の教育活動支援	◇教育諸活動への支援 ・クラブ活動助成 全国大会出場クラブへ激励金を贈った (器楽部 男子ソフトボール部 少林寺拳法 将棋 弓道 吟詠剣詩舞) ・弥生塾運営への補助 40万円 ・学校備品の寄贈(除雪機 約55万円) ◇卒業生への記念品(卒業証書ホルダー)の贈呈

■ 会議等 ○総会1回 ○理事会2回 ○常任理事会4回 ○専門委員会3回

■ その他 卒業生記念品贈呈式、福岡県筑紫子ども会視察受け入れ 他

◆平成28年度伊那弥生ヶ丘高校同窓会 事業計画◆

【目標】

◇同窓会組織および活動の充実、発展 ◇母校の教育活動支援

【活動の重点】

- ①会費制の充実、整備を図る ②本会、支部組織が機能、充実するための環境整備を行う
 ③情報を積極的に発信する ④教育活動支援の定着化を進める

【具体的推進事項】

活 動	内 容
会費制の充実、整備	◇在学時の納入について、関係機関の理解を図り、検討を進める ◇会費制の定着を図る
組織の充実	◇支部組織がより機能するための支援を行う ◇役員選出規則等の整備を行う
情報の発信	◇会報の発行 ◇より多くの会員が興味を持てるよう、ホームページを整備し、積極的、効果的な情報の発信を行う
母校の教育活動支援	◇教育諸活動への支援を定着化させる ・クラブ活動助成 ・学力向上、進路希望実現のための支援事業への助成 ・その他必要な助成 ◇卒業生へ記念品(卒業証書ホルダー)を贈呈する

※上記活動を次の各組織を中心として推進する

- 正副会長会 ・同窓会業務推進等全般について検討する
- 常任理事会 ・同窓会活動を推進し、組織の確立を図る
 ・専門委員会を設置し、課題解決、効果的な活動の推進を行なう
 (会費、教養文化、広報、組織検討)
- 理 事 会 各支部長により構成し、年2～3回開催する
- 総 会 年1回開催し、事業、決算等の承認を行う

平成27年度伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会一般会計 決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入 16,442,420円
 支出 15,579,880円
 差引 862,540円 (次年度へ繰越)

収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 繰越金	2,709,302	2,709,302	0	前年度より
2 会費	5,225,000	13,662,500	8,437,500	
1 会費	4,000,000	12,442,500	8,442,500	終身会費を含む
2 入会金	1,225,000	1,220,000	△ 5,000	平成27年度入学生244名@5,000円
3 雑収入	698	70,618	69,920	預金利息他
合計	7,935,000	16,442,420	8,507,420	

支出の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 事務費	3,450,000	4,226,595	776,595	
1 報酬	1,300,000	1,397,000	97,000	事務局職員他賃金
2 事務用品費	300,000	544,566	244,566	消耗品等
3 光熱費	50,000	46,689	△ 3,311	電気、ガス代、水道、灯油代
4 通信費	1,200,000	1,511,712	311,712	郵送料、電話料、インターネット使用料
5 印刷費	400,000	478,330	78,330	帳票等印刷
6 雑費	200,000	248,298	48,298	振込手数料
2 交際費	130,000	150,400	20,400	祝儀、香典、饗別他
3 会議費	80,000	94,179	14,179	理事会他
4 旅費	150,000	110,800	△ 39,200	理事会、東京支部総会
5 事業費	3,100,000	3,489,782	389,782	
1 総会費	450,000	496,703	46,703	懇親会補助、当番生経費、需用費
2 講演会費	500,000	389,545	△ 110,455	総会講演会
3 会報発行費	500,000	379,080	△ 120,920	印刷費
4 支部活動費	400,000	1,066,600	666,600	支部活動支援(集金分会費の20%)
5 記念品費	100,000	101,314	1,314	卒業生卒業証書ホルダー贈呈
6 クラブ関係費	150,000	100,000	△ 50,000	全国大会出場祝い金
7 教育活動支援費	1,000,000	956,540	△ 43,460	教育諸活動支援
6 広告費	300,000	189,624	△ 110,376	新聞広告代
7 繰出金	700,000	7,318,500	6,618,500	特別会計(終身会費積立)へ
8 予備費	25,000	0	△ 25,000	
合計	7,935,000	15,579,880	7,644,880	

△：決算額が予算額より少ない場合

平成28年4月8日

監査の結果正確且つ適正に処理されていることを認めます。

監事 小松 富美子

監事 金沢 妙子

平成27年度伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会特別会計(終身会費積立) 決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

単位：円

前年度末積立額	今年度変動額				今年度末積立額	摘要
	繰り入れ額	繰り出し額	利息	計		
0	7,318,500	0	0	7,318,500	7,318,500	

平成27年度伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会基金積立会計 決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

単位：円

前年度末基金額	今年度変動額				今年度末基金額	摘要
	積立額	取崩額	利息	計		
5,000,998	0	0	531	531	5,001,529	

平成28年度伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会一般会計 予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収入 7,793,000円
 支出 7,793,000円
 差引 0円

収入の部

単位：円

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
1 繰越金	862,540	2,709,302	△ 1,846,762	前年度より
2 会費	6,230,000	5,225,000	1,005,000	
1 会費	5,000,000	4,000,000	1,000,000	終身会費繰入を含む
2 入会金	1,230,000	1,225,000	5,000	平成28年度入学生246名@5,000円
3 繰入金	700,000	0	700,000	基金積立会計より繰り入れ
4 雑収入	460	698	△ 238	預金利息、寄付金 他
合計	7,793,000	7,935,000	△ 142,000	

支出の部

単位：円

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
1 事務費	3,700,000	3,450,000	250,000	
1 報酬	1,300,000	1,300,000	0	事務局職員賃金、作業補助報酬
2 事務用品費	350,000	300,000	50,000	消耗品等
3 光熱費	40,000	50,000	△ 10,000	電気、ガス代、水道、灯油代
4 通信費	1,300,000	1,200,000	100,000	郵送料、電話料、インターネット使用料
5 印刷費	480,000	400,000	80,000	帳票等印刷
6 雑費	230,000	200,000	30,000	振込手数料
2 交際費	140,000	130,000	10,000	祝儀、香典、饗別他
3 会議費	90,000	80,000	10,000	理事会他
4 旅費	110,000	150,000	△ 40,000	理事会、東京支部総会
5 事業費	3,390,000	3,100,000	290,000	
1 総会費	500,000	450,000	50,000	懇親会補助、当番生経費、需用費
2 講演会費	150,000	500,000	△ 350,000	総会講演会
3 会報発行費	1,100,000	500,000	600,000	会報印刷、ホームページリニューアル
4 支部活動費	400,000	400,000	0	支部活動支援
5 記念品費	100,000	100,000	0	卒業生卒業証書ホルダー贈呈
6 クラブ関係費	140,000	150,000	△ 10,000	全国大会出場祝い金
7 教育活動支援費	1,000,000	1,000,000	0	教育諸活動支援
6 広告費	200,000	300,000	△ 100,000	新聞広告代
7 繰出金	150,000	700,000	△ 550,000	特別会計(終身会費積立)へ
8 予備費	13,000	25,000	△ 12,000	
合計	7,793,000	7,935,000	△ 142,000	

△：予算額が前年度予算額より少ない場合

平成28年度伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会特別会計(終身会費積立) 予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

単位：円

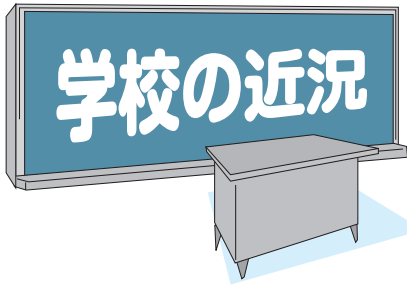
前年度末積立額	今年度変動予定額				今年度末積立見込額	摘要
	繰り入れ額	繰り出し額	利息	計		
7,318,500	150,000	843,000	500	△ 692,500	6,626,000	

平成28年度伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会基金積立会計 予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

単位：円

前年度末基金額	今年度変動予定額				今年度末基金見込額	摘要
	積立額	取崩額	利息	計		
5,001,529	0	700,000	471	△ 699,529	4,302,000	



母校は明治44年、郷土の期待のもと町立伊那実科高等女学校として開校され、昭和24年には長野県伊那弥生ヶ丘高等学校となり、また昭和52年には男女共学校となって歩みを重ねてきました。

創立105年となった本年度は、各学年6クラス、728名の生徒が伝統的な校風である「自主自立・文武両道」の精神のもと、文化や社会の担い手としての全人的教養とともに、理性的判断力、豊かな創造力を備えた人間となるべく、学校行事に、部活動に、そして意欲的に学習に取り組んでいます。

◆ 卒業生の進路状況 (平成28年3月)

早期から将来の進路を見据え、一人ひとりがしっかりと目標と意欲をもち努力していることが進路実現につながっています。

また、進学率の向上と受験をとりまく環境の変化、「土曜休業」完全実施の中で、学力向上と進路希望実現のため、月一回程度土曜日に「弥生塾」が設置され、全生徒が学んでいます。



進路先	進 学								就 職			その他		
	国公立大	私立大	文科学部外の大学	国公立短大	私立短大	医看専門	他専門	計	公務員	民間	計	浪人	その他	計
男	19	57	1	1	1	1	6	86	2	2	4	21	1	22
女	15	77	0	6	8	9	9	124	2	4	6	3	0	3
計	34	134	1	7	9	10	15	210	4	6	10	24	1	25
合格延数	35	246	1	9	13	17	15	336						

◆ クラブ活動の状況

「武からの学力向上」「文からの技術向上」

30以上の運動系、文科系のクラブがあり、活発な活動が行われています。

本年度各大会の状況 (主な結果)

高等学校総合体育大会〈南信大会〉

- 陸上 (男子) 200M 8位、400M障害 5位
400Mリレー 6位
1600Mリレー 2位
- (女子) 100M 3位、200M 6位
100M障害 優勝、砲丸投げ 5位
やり投げ 優勝
7種競技 優勝 (大会新)
- ソフトボール (女子) 準優勝
- バスケットボール (女子) 4位
- バレーボール (男子) 5位
- テニス (男子) 団体 4位、ダブルス 3位
- テニス (女子) 団体 優勝 (6年連続)
ダブルス 優勝、
シングルス 優勝・3位・6位
- ソフトテニス (男子) 個人 2位
- ソフトテニス (女子) 団体 3位
- 卓球 (女子) ダブルス 9位、シングルス 9位
- バトミントン (女子) 団体 優勝 (20年ぶり)
ダブルス 2位・4位
シングルス 3位
- 弓道 (男子) 個人 優勝・4位・8位
(女子) 団体 5位
- 剣道 (男子) 団体 5位、個人 8位
- 水泳 (男子) 500M自由形 3位、100M自由形 3位
100M背泳ぎ 4位、200M背泳ぎ 4位
- 水泳 (女子) 100M平泳ぎ 2位、200M平泳ぎ 2位



高等学校総合体育大会〈県大会〉

- 陸上 (女子) 100M障害 優勝・7種競技 優勝
- ソフトボール (男子) 優勝
- テニス (女子) 団体 準優勝
- ソフトテニス (男子) 団体 準優勝
- バスケットボール (女子) 3位
- 少林寺拳法 (女子・単独演武) 優勝



高等学校総合体育大会〈北信越大会〉

- 陸上 (女子) 100M障害 7種競技 6位
- ソフトボール (男子) 3位



高等学校総合体育大会〈全国大会〉

- 少林寺拳法 (女子・単独演武) 7/29~31 岡山県美作市
- ソフトボール (男子) 8/5~8 広島県尾道市

全国高等学校総合文化祭〈全国大会〉

- 小倉百人一首かるた部門 県チーム選手に選考される
8/1~3 広島県呉市
- リーダーズコール部門 8/2~4 広島県廿日市

全国高等学校ギターマンドリン音楽コンクール

- 器楽部 7/26・27 大阪府吹田市



ソフトテニス部

私たちソフトテニス部は、勝ち負けもそうですが、ソフトテニスという競技を通じて、一人の人間として社会に貢献していくことを重んじる部活です。それと同時に、仲間との絆を深め、チーム一丸となり戦っています。

秋に行われた新人戦では、強豪校を相手に一步も引かずに勝利を掴むことができ、南信地区唯一の県ベスト8という、私たちにとって誇らしい成績を取ることができました。高校生活最後の大会である総体では、思うような結果が出ず、涙が落ちることもありました。ですが、暗い気持ちで終わるよりも、精一杯、悔いの残らないようにしようと皆で決意を固め、県大会に臨む努力を惜しみませんでした。

私たちがこのソフトテニス部で学んだことは、社会に出てもきっと役に立つものでしょう。私たち3年生は後輩たちに、強さよりも本来の意味である礼儀や秩序を受け継いでいってほしいと思います。



卓球部



私たち卓球は、全員で楽しく真剣に練習できるチームです。南信大会、県大会、そしてもっと上の大会で勝ち上がることができるように毎日一生けん命練習しています。顧問の先生は、私たちのことをとてもよく見ていてくれて、私たちのためにたくさんの時間を使って指導してくれます。私たちに期待をしてくれていて、とても嬉しいです。

高体連では、団体戦、ダブルス、個人戦のすべてで県大会に出場することができました。北信越に進むことはできませんでしたが、全員で戦って、最後まで諦めずにプレーできたので後悔はしていません。

部活を続けていると、つらいこともあります。そんなときに支えてくれるのは仲間です。何でも話せて相談に乗ってくれて、励ましてくれる仲間がいます。大切な仲間と練習できる時間を大切に、これからも練習を頑張っていきたいです。

音楽部

私たち音楽部は、現在1年生12人、2年生4人、3年生4人の計20人で日々楽しく歌っています。部活としては、夏にNHK全国学校音楽コンクール、冬には声楽アンサンブルコンテストという大会に参加していて、毎年それぞれの大会にむけて頑張っています。また弥生祭ではコンサートを開いて、日頃の活動の成果を発表しています。その他にもいろいろなイベントがあり、他校の合唱部の生徒との交流の場でもあるリーダーズコールは、大人数で歌える貴重な機会でもあり、全国高等学校総合文化祭にも出場させていただいています。

部員は歌が好きな仲間が集まっています。私たちにギターもハーモニカも、カッコいい楽器はありません。ですが、私たちに声という楽器があります。そしてこれは誰しも元から持っているものです。その声はその人にしか出せません。そんな貴重な声を合わせて音楽を創っているのが、私たち音楽部です。



平成 28 年度会費納入のお願い

平成27年度同窓会費を納入していただきまして誠にありがとうございました。しかしながら年々納入していただく人数が減少しております。本会の安定的な運営と母校への支援のため、再度ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

- **金額** <年会費>1,000円
<終身会費>25,000円(平成24年度から納めていただいている会費分を含めます。)
※年齢により特例措置あり
- **納入方法** <上伊那各支部>支部役員が訪問しますのでその際に納入していただくか、同封の振込用紙にて郵便局よりお振り込みください。(手数料は同窓会負担)
<上記以外>同封の振込用紙にて郵便局よりお振り込みください。(手数料は同窓会負担)
- **納入期間** 平成28年11月30日までをお願いします。

※ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

会費制について

〈経過、趣旨〉

本会は従来、その年度の新入生からの同窓会入会金のみで運営されていたため、活発な活動を行うことができませんでした。百年を超える歴史にふさわしい活動ができる体制を確立していくためには会員の皆様から会費を納めていただき、同窓会の役割を果たしていくことが必要であると考えました。

平成21年度の総会において会費制導入について承認されました。但し時期については百周年事業の終了後に検討ということになり、平成24年度の総会において討議し、会費1,000円の納入が承認されました。



〈会費の用途〉

皆様からの会費に支えられ、次のような活動を行ってまいります。

- ①会報の発行
支部活動や学校の様子を会員の皆様にお知らせします。
- ②支部活動の支援
会費を集金していただくことでさらなる会員同士の交流が図られると思います。集金された会費の2割が支部へ還元されますので、活動の資金にしていきたいと思っております。
- ③同窓会主催による講演会、音楽会などの開催
- ④クラブ活動の助成と教育活動の支援
母校では後輩たちが百年の伝統のもとで学習、クラブ、生徒会活動等に真剣に取り組んでいます。特に進学については着々と成果を上げています。またクラブ活動も95%の加入率で頑張っています。同窓会としてもできる限りの支援をしたいと考えます。

終身会費制について

より多くの会員の皆様に同窓会活動を支えていただけますよう、また、支部役員の方の負担軽減と集金の効率化を図るため、終身会費制を導入いたしました。

- ◆ **金額** 25,000円(年会費の納入金額の上限についても25,000円とする)
- ◆ **年齢による特別措置**(平成24年度からいただいている会費分は含めません)
 - 60歳以上：10,000円
 - 70歳以上：5,000円
 - 80歳以上：免除(名誉会員とする)
- ◆ **納入方法の追加**
 - ・ 総会当番学年の年(60歳時)に集金する。(10,000円)
 - ・ 希望があれば複数年分を一括納入できる。

同窓会ホームページがリニューアルします(8月中旬予定)

詳しくは別紙のお知らせをご覧ください。

編集後記

緑あふれる母校、そこに集う若者たち。後輩たちの活躍を見ることのできる幸せ。弥生ヶ丘に幸あれと願う私。同窓生の皆様もお楽しみください。



伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会報 第7号 平成28年8月1日発行

発行人：伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 同窓会長 久保田裕子

〒396-0026 長野県伊那市西町 5703 TEL/FAX.0265-76-0615 E-mail : yayoidoso@heart.ocn.ne.jp

題 字：花岡多賀(旧姓：北林・高女36回)伊那市西春近在住

印 刷：有限会社マスマタ印刷